

平成 22 年度水源地域共同プロモーション
支 援 方 策 調 査 業 務

報 告 書

平成 23 年 3 月

中 央 開 発 株 式 会 社

平成 22 年度水源地域共同プロモーション支援方策調査業務 目次

【本編】

第 1 章 業務概要

1-1 業務概要	1
1-2 業務内容	2

第 2 章 観光のプロモーション等に関する業務

2-1 「“ 水のめぐみ ” とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」の 全応募企画の整理と活用方策の検討	6
2-2 コンテスト 2010 の受賞企画のプロモーションの検討	31
2-3 「水の里」の観光資源のプロモーションのまとめ	62

第 3 章 特産品のプロモーション等に関する業務

3-1 特産品情報の収集、整理及び活用	66
3-2 流通業界との連携による試行的取組み	84

第 4 章 持続的な仕組み（事業スキーム）の検討

4-1 持続的な仕組み（事業スキーム）の検討	144
4-2 「水の里」応援プロジェクトのシンボルマークの運用	146
4-3 「水の里」応援プロジェクトの事業スキームの提案	151

第 5 章 水源地域（水の里）の共同プロモーションに関する

検討会及び専門委員会の開催

5-1 専門委員会	154
5-2 検討会	165

第 6 章 今後の課題	166
-------------	-----

【巻末資料】

1. 水の里の旅 応募企画の一覧表
2. 水の里応援プロジェクト展示イベント実施の手引き（素案）
3. フードコンベンション 2010 出展物台帳
4. 総合展示商談会出展物台帳
5. 水源地域特産品情報
6. 「水の里応援プロジェクト」シンボルマーク募集情報
7. 水の里応援プロジェクト名称及びシンボルマーク使用許諾要領（案）
8. 水の里応援プロジェクトシンボルマーク応募作品一覧
9. 専門委員会配布資料
10. 検討会送付資料

第1章 業務概要

1-1 業務概要

1) 業務の目的

わが国の水源地域は、国民の生活や産業の基礎となる水資源を育む「水の里」として、また、水と森に彩られた日本の原風景としてその維持・保全が重要ですが、近年の産業構造の変化に伴う過疎化や高齢化が進行し、集落や地域社会の衰退が進み、水の里や原風景を支え育むという役割が担いにくくなっている。

このような水源地域の機能や役割を維持・保全し、地域の活性化を図るためには、地域産業としての観光振興や地域の製品の販売促進が鍵であるものの、多くの水源地域では、優れた観光資源や地域ならではの製品を地域活性化に活かすための人材、ノウハウ、財源等が十分でない場合が多いのが現状である。特に、地域の資源や特産品を販売促進するためのブランドの形成やプロモーションは、全国の水源地域の共通の課題となっている。

このようなことから、本業務は、地域が有している潜在的な観光資源や特産品を発掘し、全国市場への販売促進を支援するための共同のプロモーションの仕組みを構築することを目的として、昨年度行われた試行（①水の里の旅コンテスト2010、②水の里特産品の情報収集等）の成果を十分に活用しながら、その充実に努め、水源地域の観光資源や特産品等の効果的な共同プロモーションを検討・実施するとともに、今後の持続可能な仕組みの構築を実現するための検討を行った。

2) 業務名

平成22年度水源地域共同プロモーション支援方策調査業務

3) 実施場所

全国（水源地域）

4) 工 期

自) 平成22年5月21日

至) 平成23年3月10日

1-2 業務内容

1) 業務項目

本業務の業務項目を表-1.2.1 に示す。

表-1.2.1 業務項目一覧

項目	細別	単位	数量
1.観光のプロモーション等に関する業務	1)「“水のめぐみ”とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」の全応募企画の整理と活用方策の検討	式	1
	2)コンテスト 2010 の受賞企画のプロモーションの検討	式	1
2.特産品のプロモーション等に関する業務	1)特産品情報の収集、整理、活用	式	1
	2)流通業界との連携による試行的取り組み	式	1
3.持続的な仕組み(事業スキーム)の検討		式	1
4.水源地域(水の里)の共同プロモーションに関する検討会及び専門委員会の開催		式	1
5.報告書作成		式	1
6.打合せ		回 3	

2) 業務のフローチャート

業務の流れを図-1.2.1に示す。

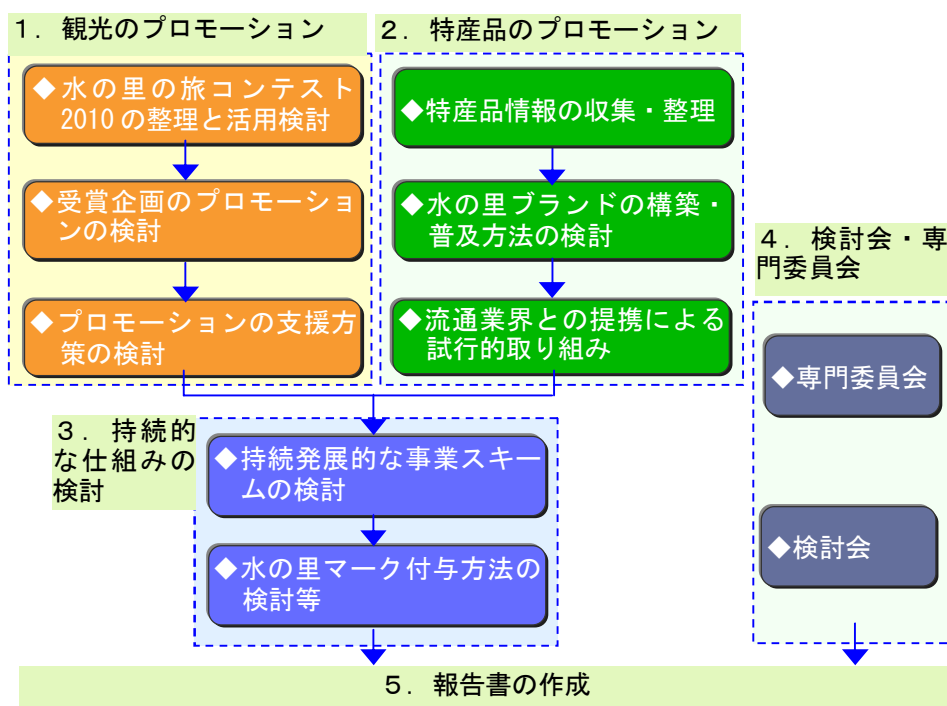


図-1.2.1 業務フロー図

3) 実施内容

(1) 計画準備

業務の目的・主旨及び設計図書に示す業務内容を把握し、業務計画書を作成し提出した。

(2) 観光のプロモーション等に関する業務

①「“水のめぐみ”とふれあう水の里の旅コンテスト2010」の全応募企画の整理と活用方策の検討

昨年度実施した「“水のめぐみ”とふれあう水の里の旅コンテスト2010」の全応募企画(68件)について、①全応募企画の分析・整理、②水源地域や水文化ならではの魅力や特色を活かした着地型旅行企画を造成する各地域の参考に資することを目的とした活用方策(地域への還元、還流等)の検討を実施した。

全応募企画の分析・整理については、応募企画の内容や特色を明らかにするために、①ターゲット、②水の里への波及効果、③観光資源の魅力、④希少性・優位性、⑤工夫されている点などの項目を整理した。

活用方策の検討については、選考委員会におけるコメントや着地型観光の専門家による評価コメントなどを還流するとともに、「水の里の旅」専用ホームページを作成し、広く水の里の魅力を発信した。

②コンテスト2010の受賞企画のプロモーションの検討

コンテスト2010の受賞企画に即したプロモーションのあり方を検討し、旅行業界による実際のプロモーション活動に資するものとした。あわせて、プロモーションの一環として発注者が実施予定のコンテスト2010の表彰式を支援した。

また、「水の里の旅」受賞企画の詳細内容(行程や広報内容、広報先など)を把握した上で、

ツアー実施に必要なプロモーションの後方支援のあり方を検討した。

さらに、「水の里の旅」受賞者が企画しているツアーに参加し、他の参加者に対するヒアリングや実施内容の観察を行い、企画ツアーの改善点や他資源との連携の可能性を探った。

(3) 特産品のプロモーション等に関する業務

① 特産品情報の収集、整理及び活用

【収集及び整理】

発注者が実施している特産品情報の収集及び整理作業について助言、作業補助等を実施した。また、水源地域で活動している関係団体を通して特産品情報の充実を図った。

上記作業で収集した特産品情報は、流通業界などに簡易かつ適切に情報提供できるように整理した。

【流通市場への特産品情報の普及方策の検討】

流通業界関係者との具体的な商談の実施、さらには水源地域特産品の販路拡大のためには、まず、発注者が現在全国から収集している特産品情報を広く流通業界の関係者に知らせ、関心を喚起することが重要であると考えられる。そこで本業務では、収集・整理した特産品情報を整理し、その普及のためホームページでの発信を検討した。

② 「水の里ブランド(仮称)」の構築、普及方策の検討

水源地域ならではの魅力、特色を活かした「水の里」ブランド(仮称)を構築することによる差別化を行い、流通業者、ひいては消費者に広くアピールするための方策が必要であると考えられる。そこで「水の里」ブランド(仮称)の構築、普及方策について検討した。

検討にあたっては、「水の里」特産品ブランドの具備すべき要件として考えられる生産地や生産者、利用素材、製造方法などの「特産品」に相応しい項目とその評価方法、ブランド認定のための条件を抽出・整理した。

また、「水の里」特産品ブランドの普及方策として、「水の里」応援プロジェクトのシンボルマークの募集について検討し、その募集を図った。

(4) 流通業界との連携による試行的取り組み

① 流通市場への特産品情報の普及方策の試行

上記で検討した普及方策(リーフレットやホームページの作成など)を実際に試行した。

② 流通業界との連携によるフードフェアへの出展等

検討した普及方策(食品展示会への出展など)を実際に試行した。

(5) 持続的な仕組み(事業スキーム)の検討

観光及び特産品全般にわたって、持続的なプロモーション活動を行うための事業スキームを検討した。

事業スキームの短期・中期・長期の発展形を段階的に描きながら、これらを達成するために必要な経営資源(運営主体、資金・機材、人材(ノウハウ)等)の要件を整理した。

なお、事業スキームの発展形を検討するにあたっては、持続発展が可能な運営主体を複数リストアップし、それらの可能性について比較した。

また、「水の里」応援プロジェクトのシンボルマークにあたっては、シンボルマークの使用

目的を設定し、類似事例の収集・整理を行った上で、リスク対策を組み込んだ付与の方法について比較検討を行った。そして、付与の条件、付与の方法、付与の主体、フォローアップの仕組みなどについて整理した。併せて、制度運用のための要項や必要書類等の様式の作成を行った。

上記までの検討をもとに、持続可能な事業スキームを構築するためのプロセスについて検討し、今後必要な作業などを明らかにした。具体的には、到達すべき目標（アウトカム）を設定した上で、現状の課題や障害事項等を整理し、短期、中期、長期的に達成・克服すべき内容や支援策等を検討した。

(6) 水源地域(水の里)の共同プロモーションに関する検討会及び専門委員会の開催

昨年度より設置・運営している検討会、専門委員会を開催した。

(7) 報告書作成

上記業務に関する報告書を作成した。

4) 成果品の内容、部数

成果品名	数量
報告書(A4版)	3部
報告書の電子媒体(CD-R)	1式
その他、監督職員が必要と認める資料	1式

第2章 観光のプロモーション等に関する業務

2-1 「“水のめぐみ” とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」の全応募企画の整理と活用方策の検討

1) 受賞企画の概要整理

平成21年12月17日に公示された「“水のめぐみ” とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」において、平成22年3月30日に68件の応募の中から各賞（大賞1点、優秀賞3点、特別賞5点）の受賞者が選ばれ、第16回日本観光博覧祭 旅フェア2010において表彰式が実施された。

受賞企画の概要を以下に示す。なお、全応募作品の概要については、2)「“水のめぐみ” とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」の全応募企画の整理にて示す。

<大賞>

●青森通リズム(株) (青森県)

未知の国の 水と遊び 水を知る旅～八甲田山の四季が創る青森の水の知恵～

【受賞作の概要（ポイント）】

- ・一般的に知られていない景勝地の新しい魅力をアクティブな体験を通して発見!

①湖上をカヌーで漕いで水鳥の眼になって

水と親しみ、名もない入り江や岩、大樹を探す

②「奥入瀬の水」水で淹れる水出し珈琲

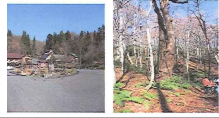
③八甲田山麓の湧水が作り出した湖沼群の散策

④人工河川など水にまつわる歴史を学ぶ



◆主な旅行メニュー

- ・奥入瀬溪流(散策)
- ・宇樽部湖畔キャンプ場・カヌー体験
- ・法量農村公園の散策
- ・八甲田山麓の湧水が作り出した湖沼群の散策
- ・新渡戸記念館(十和田市開拓の歴史)

【ポイント1】 ＜湧水館の水出し珈琲と奥入瀬川＞	【ポイント2】 ＜カヌーで触れる十和田湖の水＞	【ポイント3】 ＜葛温泉と湖沼間にある大樹＞
		
長い青森の冬は、7月初旬までも、八甲田山の山肌に雪を残す、日本海から吹き込む雲は、八甲田山に霧となり雨となって、多くの水資源を残す。時を経て湧き水となり湖や沼となり、小さな溪流は滝に姿を変え奥入瀬川に流れ込み、天然のミネラル豊富な水となる。そんな水で入れたコーヒーは、喉と心を癒してくれる。	さあ、水鳥の眼になって湖水と遊ぼう！澄んだ湖水は、やがて奥入瀬溪流となり、その水は、新渡戸一族の手によって人口河川となって、三本木原を潤し、緑豊かな田園を作り、十和田市を流れ、やがて太平洋に注ぐ。ここから、この十和田湖の水の流れに沿った水の里の旅が始まります。	葛温泉は、青森県の秘湯のひとつ！ヒバ作りの湯船の底から自噴する天然掛け流しの温泉です。また園内には八甲田山からの湧水がいたるところに湖沼を創りだしています。その、6湖沼を、のんびりと野鳥のさえずりや小溪流のせせらぎを聞きながら巡ります。大樹に耳を寄せて、その鼓動を聞いてみましょう！

<優秀賞>

●七ヶ宿町観光協会 (宮城県)

水守の郷・七ヶ宿／あなたの中に眠っている「山・水・木々物語」ここにあります。

【受賞作の概要（ポイント）】

- ・水守の郷づくりを行っている七ヶ宿町で、薪割りや釜戸ご飯づくり、炭焼き、森林トレッキング、水辺のカヌーなど様々な「大人の山がっこ」体験を楽しみ、田舎のかあちゃんのお宿「民宿大川屋」でおもてなし。



◆主な旅行メニュー

- ・七ヶ宿による薪割りや釜戸ごはんづくり、炭焼き
- ・ダム管理所(監査廊探検)
- ・七ヶ宿公園(カヌー体験)
- ・森林トレッキング

●吉野川 食のツーリズム会議（徳島県・高知県）

吉野川の源流・食の探訪・青空キッチン

【受賞作の概要（ポイント）】

- ・料理に関心を持つ人々をターゲットに、吉野川河口のカリスマ漁師・村公一氏が食のツアーをコーディネート。吉野川源流の環境、源流が育んだ食材、源流が培った暮らしの文化を堪能します。



◆主な旅行メニュー

- ・山の農家の食卓体験（萱葺きの家の囲炉裏端、源流の暮らし体験）
- ・地元有機農家の畑から食材探し
- ・地元食材を使った料理コンペ、食の交流会

●(社)日田市観光協会（大分県）

「水と森の恵みに感謝」五感で感じる秋の水郷（すいきょう）ツアー

【受賞作の概要（ポイント）】

- ・3万本の竹灯籠が川面に映り幻想的な「千年あかり」、水の流れを利用した唐臼の音がこだまする「小鹿田焼きの里」、玖珠川のせせらぎを聞きながら「天ヶ瀬温泉・露天風呂」など、五感で感じる「水」物語を楽しめます。



◆主な旅行メニュー

- ・松原ダム遊湖乗船（ダム湖渓谷の紅葉）
- ・千年あかり（点火体験・自由散策・夕食）
- ・「天ヶ瀬温泉・露天風呂」の入浴
- ・「小鹿田焼の里」での焼き物体験

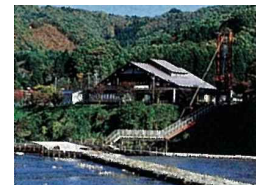
<特別賞>

●NPO法人 最上川リバーツーリズムネットワーク（山形県）

～アルク最上川～（歩く早さで感じる旅）最上川流域の景観・まち・文化・歴史を活用した観光推進事業

【受賞作の概要（ポイント）】

- ・壮大な最上川流域の自然・歴史・文化を感じながらガイドボランティアの引率で歩く旅である。



◆主な旅行メニュー

- ・最上川フットパスなどウォーキング
- ・小松織物工芸見学
- ・棚田百選の「榎平の棚田」見学・セヶ宿公園（カヌー体験）

●福島県大沼郡金山町（福島県）

水のふるさと「奥会津かねやま」の旅 / 多彩な水、その「かたち」と「ちから」を訪ねて

【受賞作の概要（ポイント）】

- ・通常の旅行では見ることができない「癒しの森」「水のかたち」を一度に体験できる。



◆主な旅行メニュー

- ・バス松坂峠ブナ林「癒しの森」散策
- ・「大源流米」水田見学
- ・沼沢湖カヌー体験or湖畔散策

●水郷佐原観光協会（千葉県）

ぐるっと水郷舟遊び / 悠々満喫 さっぱ舟で
ゆく水郷佐原

【受賞作の概要（ポイント）】

- ・全国でも珍しい水位調整閘門くぐり体験や舟内で食する絶品郷土料理、四季に応じた水辺の花の観賞などが楽しめる。



◆主な旅行メニュー

- ・ぐるっと水郷舟遊び（水面目線から観る自然風景と佐原の町並み）
- ・水辺観光（あやめ・コスモス・いちじくなど）
- ・佐原町並み散策 など

●（財）いびがわ 生命（いのち）の水と森の活動センター（岐阜県）

日本一の徳山ダムと上流の豊かな自然にふれよう
／揖斐川源流水源地探索会

【受賞作の概要（ポイント）】

- ・総貯水容量日本一・徳山ダムや徳山湖など上流の豊かな自然に触れ、サワアザミのおやき、間伐材を利用したマイ箸作りなどを体験できる。



◆主な旅行メニュー

- ・徳山ダム学習、周辺散策
- ・水源地の横綱「シロビヤスギ」見学
- ・体験活動（間伐材を活用した「マイ箸」、ヤマセミなど「バードオーナメント」づくり）など

●（株）旅行屋（三重県）

地域の応援に支えられる五桂池「高校生レストラン “まごの店”」

【受賞作の概要（ポイント）】

- ・宮川の清流で育まれた三重のブランド松阪牛調理体験と勢田川の水上市場輸送で栄えた「伊勢河崎」の町並み、日本で初めての「川の駅」から「海の駅」まで平成の「船参宮」気分を味わえる。



◆主な旅行メニュー

- ・「五桂池ふるさと村“まごの店”」にて調理体験
- ・“おばあちゃんの店”で地元産品のお買い物
- ・地元案内人による「河崎の町並み・河崎商人館」のガイド
- ・和船「みずき」で船参宮の（勢田川遊覧）気分を味わう

2) 「“水のめぐみ” とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」の全応募企画の分析・整理

「“水のめぐみ” とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」企画の分析・整理するにあたり、

1. 応募企画の概要、2. 水の里の概要、3. 応募企画の特徴、4. 運営の概要の4項目で取りまとめる。

1. 応募企画の概要では、エントリーシートに記載されている旅行の概要について整理する。

また、旅行の概要を踏まえて、旅行の主なテーマを抽出する。

2. 水の里の概要では、水の里が有する自然環境、水に関する認定、水文化の保全の取組を整理し、水の里の地域活性化の可能性について整理する（認定、地域の取組など）。

3. 応募企画の特徴では、上記1. 2. で整理した内容から、地域活性化を目的とした「水の里の旅」での主なターゲット、水の利活用方法、地域への還元効果（経済波及効果）、希少性・優位性などについて整理する。

4. 運営の概要では、予約方法、アクセス性、企画協力機関などの参加のしやすさなど整理する。

以上の整理内容を踏まえ、全応募企画(68件)について、全応募企画の分析・整理を実施した。全応募企画の概要、整理に用いたエントリーシート、整理結果一覧表の一部を次頁以降に示す。また、全応募企画の一覧表は巻末資料に示す。

応募企画の内容や特色を明らかにするために、①ターゲット、②水の里への波及効果、③観光資源の魅力、④希少性・優位性、⑤工夫されている点などの項目で整理し、評価した。

整理結果から、水の里の旅行企画の特性、水の利活用方法などを把握した。

表 2-1 応募企画の整理分類・項目

分類	項目※	備考※
1. 応募企画の概要	◆タイトル	
	◆都道府県 / 観光地名	
	◆活かそうとしている「水」の特性・特徴	
	◆旅行の目的	
	◆主なテーマ	
	◆主な観光ポイント（観光地など）	
	◆日程	
	◆実施時期	
	◆アクセスの起点	出発地点
	◆旅行中の移動手段	旅行内の二次交通
	◆旅行企画のセールスポイント	
	◆ガイドの有無	
2. 水の里の概要	◆水に関する自然環境／水資源施設	河川、湖、滝、湧水、森林等、ダム、貯水池など
	◆水に関する認定	全国水の里百選、水源の森百選、名水百選など
3. 応募企画の特徴	◆主なターゲット	旅行の内容から、主なターゲットを整理
	◆水の利活用方法	観る、触れる、食べる、聞く、感じる、活用するなど、水の利活用方法を整理
	◆波及効果	水の里の旅を実施することによる地域への還元効果
	◆希少性・優位性	財団法人観光資源台帳で観光資源の魅力を評価
4. 運営概要	◆予約方法	
	◆運営組織	
	◆企画協力機関	
	◆リンク	企画会社等のホームページアドレス

※網掛け：エントリーシートから独自に整理する項目

(1) 水の里の旅の応募一覧及び整理結果

水の里の旅コンテスト2010 応募企画一覧

番号		都道府県	市町村	観光地域名	応募者名	タイトル
1	北海道	北海道	東川町	大雪山国立公園 (旭岳地区・天人峡 地区)及び東川町内	東川町観光協会	ひがしかわDE水みずしいゆとり旅 ～「水の町」×「写真の町」にしかできない思い出写真づくり 体験ツアー～
2		北海道	札幌市	定山溪	定山溪観光協会	みずがめ / さっぽろの大切な森[水源の里・定山溪]
3	東北	青森県	十和田市・ 七戸町	十和田湖	青森通リズム(株)	未知の国の 水と遊び 水を知る旅 ～八甲田山の四季が創る青森の水の恵～
4		青森県	新郷村	新郷村	新郷村産業建設課	神秘とロマンの里「新郷村」、春の自然と味覚を満喫。新郷 村の春の息吹を感じ木立を渡る風と小鳥のさえずり聞きなが ら里山ハイキング
5		秋田県	能代市	白神山地	第一観光バス(株)	世界遺産白神山地の美水(びすい)にまつわる旅
6		岩手・秋田	盛岡市・美 郷町	盛岡市・美郷町	岩手:おもてなしプラザ運営 協議会 秋田:美郷町商工会青年部	岩手と秋田の水の里に歴史のドラマと水の物語を訪ねる旅 —サケが遡上する川のまち盛岡 & 百清水の湧水群があ る美郷町六郷—
7		山形県	長井市など	最上川流域	NPO法人 最上川リバー ツーリズム	～アルク最上川～ (歩く速さで感じる旅) 最上川流域の景 観・まち・文化・歴史を活用した観光推進事業
8		山形県	長井市など	最上川流域	NPO法人 最上川リバー ツーリズム	～最上川かわ下り列車～ (かわの流れを感じる旅) 最上川のカヌー下りとフラワー長井線を活用した観光推進事 業
9		山形県	長井市	長井市	NPO法人 長井まちづくりN POセンター	水の神様 黒獅子の里と舟運文化をめぐる旅
10		山形県	庄内町	出羽三山、月山、立 谷沢川流域	(株)日本海トラベル	平成の名水百選 立谷沢川の水の恵みとふれ合う旅
11		山形県	山形市・山 辺町	山形市・山辺町	やまがた広域観光協議会	「城下町やまがた」を潤した里山の湧水と堰めぐり
12		山形県	新庄市	・新庄市 ・戸沢村	新庄市商工観光課	和の水辺のロマンチック街道 ～最上川今昔物語～
13		山形県	遊佐町	遊佐元町地域	NPO法人 遊佐島海観光協 会	ゆざ湧水散歩 ～秀峰島海山の恵み～
14	東北	山形県	最上川流域 市町村	最上川流域	最上峡芭蕉ライン観光(株)	～川のながれのように「水」と「いのち」よみがえりの旅～ 「奥の細道」の源流・最上川と肘折温泉郷2日間 境田分水 嶺・富国民族館・朝市・幻想の森・最上峡舟下り・港町酒田
15		山形県	最上川流域 市町村	最上川流域	最上峡芭蕉ライン観光(株)	最上川満喫悠遊紀行2日間/ 最上川船運と、芭蕉の足跡を訪ねて、山寺・大石田・銀山・ 舟下り・山居倉庫 あなたは、何を発見するのか?
16		山形県・秋 田県	山形県遊佐 町、酒田市 秋田県にか ほ市、由利 本荘市	山形県遊佐町、酒 田市 秋田県にかほ市、 由利本荘市	NPO法人 遊佐島海観光協 会	島海山山麓名湯めぐり
17		宮城県	七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿町観光協会	水守の郷・七ヶ宿/あなたの中に眠っている「山・水・木々物 語」ここにあります。
18		福島県	福島市	土湯温泉	NPO法人 土湯温泉観光ま ちづくり協議会	日本一の清流 ふくしま荒川を訪ねて ～土湯温泉お宝発見～
19		福島県	二本松市	安達太良山・岳温 泉・安達太良高原	二本松観光協会	名峰安達太良山の清流、瀑布群を訪ねる…美肌の湯「岳温 泉」 湯川渓谷、烏川渓谷…マイナスイオン満喫
20		福島県	金山町	金山町	金山町	水のふるさと「奥会津かねやま」の旅 / 多彩な水、その「か たち」と「ちから」を訪ねて

番号	都道府県	市町村	観光地域名	応募者名	タイトル
21	群馬県	片品村	尾瀬	片品村観光協会	尾瀬の郷片品村にて環境省認定「平成の名水百選」湧水群めぐり / & 水源林トレッキングと高原野菜収穫、料理体験を満喫！
22	群馬県	片品村	尾瀬	片品村役場	尾瀬国立公園と湧水めぐりの旅 ～会津沼田街道 徳川時代から幕末の痕跡を辿る～
23	群馬県	片品村	尾瀬	片品村役場	尾瀬の郷名水めぐり 五感まるごと刺激！！ 森林浴・温泉浴・食欲を満喫！
24	関東	群馬県	片品村	片品村役場	春のオールかたしな／人を育む自然、自然をいつくしむ人
25	栃木県	日光市	湯西川温泉	日光アクアツーリズム協議会	「日光アクアツーリズム」／「日光 水の回廊めぐり」
26	栃木県	日光市	川治温泉	川治温泉旅館組合	川治温泉 渓谷と湖上散策の旅／龍王峡ハイキング&カヌー体験
27	茨城県	鹿嶋市	水郷地域(茨城県鹿嶋市・潮来市・千葉県香取市)	水郷三都観光推進協議会(茨城県鹿嶋市・潮来市・千葉県香取市)	東国三社詣舟運ツアー / 水辺にみえる観光と流通の歴史
28	千葉県	香取市	佐原与田浦地区	水郷佐原観光協会	ぐるっと水郷舟遊び / 悠々満喫 さっぱ舟でゆく水郷佐原
29	関東	千葉県	香取市	霞ヶ浦、佐原与田浦の水郷地区など	エアポートトラベル(株)
30	千葉県	君津市	君津市 久留里	(社)千葉県観光協会	水辺、海辺に暮らす人々の営みを船で訪ねる…原風景ものがたり 関東の名山筑波山を仰ぎ、紅白の花咲く初夏のハス田。江戸時代、舟運(しゅうん)で栄えた霞ヶ浦、利根川流域の潮来、小江戸佐原、太平洋に望む河口の街銚子へと80kmに及ぶ船の旅。
31	千葉県	君津市	君津市 久留里	(社)千葉県観光協会	～ぐるっと久留里 水里(みずさと)めぐり～ 新緑と水に触れ合う1日
32	新潟県	新潟市	新潟市北区 水の公園 福島潟とその周辺	愛宕商事(株)旅行事業部	君津市久留里地区に点在する豊富な水量を持った自噴井戸
33	北信越	石川県	白山市	白山市美川地域	(株)富士トラベル石川
34	石川県	白山市・能美市・小松市	白山市・能美市・小松市	(株)富士トラベル石川	霊峰白山のお宝・湧水の恵みを海のまちで探す旅 「白山美川伏流水群」のまちを探る「水の里」美川サブライズ！
35	長野県	安曇野市	安曇野市	長野県安曇野市・安曇野市観光協会(株)トラベルプラザあづみ	水の神様「霊峰白山」の四つの名水百選を巡る／白山美川伏流水群と伝統文化・産業・生き物を知る旅
36	長野県	木祖村	木祖村	木曾川・水の始発駅フォーラム	安曇野水物語 お水まつりと安曇野の水時間
37	静岡県	静岡市	梅ヶ島	観光協議会「ようこそ梅ヶ島」	夏の里山体験ツアー 『自然の恵みと奥木曽湖をカヌーで満喫』
38	静岡県	三島市	三島市	三島市地域振興部商工観光課	「名水とふれあう」安倍川上流梅ヶ島・自然満喫ツアー
39	東海	静岡県	富士宮市	富士宮市中心市街地地域 猪之頭地域	NPO法人 まちづくり トップランナーふじのみや本舗
40	三重県	紀宝町	熊野、東紀州、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」	熊野川体感塾	ふるさとガイドの会と歩く「清流の小径散策ツアー」 ～清流がよみがえった源兵衛川を歩く～
41	三重県	名張市	赤目四十八滝	NPO法人 赤目四十八滝溪谷保勝会	富士山の神水(湧水)に梅花藻の花咲く水の里・富士宮(世界遺産候補)富士山の恵みである湧水に梅花藻の花咲くの里を巡るツアー
					熊野川体感ツアー
					名水百選の里山で、YOMOGI摘みで草餅をついて元気になろう!!

番号	都道府県	市町村	観光地域名	応募者名	タイトル
42	三重県	名張市	赤目四十八滝	NPO法人 赤目四十八滝溪谷保勝会	赤目 山あり川あり探検ツアー
43	三重県	伊勢市	三重県伊勢市(神社港・河崎)多気郡多気町五桂池	(株)旅行屋	地域の応援に支えられる五桂池「高校生レストラン」まごの店」宮川の清流で育まれた三重のブランド松阪牛調理体験と勢田川の水上輸送で栄えた「伊勢河崎」の町並み、日本で初めての「川の駅」から「海の駅」まで平成の「船参宮」気分を味わいます。
44	岐阜県	大垣市	大垣市、養老町、揖斐川町、海津市	(株)にこやか旅行	神秘の水、おいしい水、豊かな水。そして水との戦い。“西美濃”水のふる里と「奥の細道むすびの地」を訪ねて
45	岐阜県	大垣市	大垣市、養老町、揖斐川町、海津市	(株)にこやか旅行	神秘の水、おいしい水、豊かな水。そして水との戦い。“西美濃”水のふる里と「奥の細道むすびの地」を訪ねて
46	東海	岐阜県	下呂市	NPO法人 飛騨小坂200滝	岐阜の宝もの“小坂の滝めぐり” マイナスイオン放出中ー
47	岐阜県	揖斐川町	揖斐川町	(財)いびがわ 生命の水と森の活動センター の徳山ダムと上流の豊かな自然にふれよう / 揖斐川源流水源地探索会	日本一の徳山ダムと上流の豊かな自然にふれよう / 揖斐川源流水源地探索会
48	岐阜県	郡上市	郡上市	郡上市観光連盟	水分神(みくまりのかみ) “白山”と水の恵みを活かす秘境の旅「白山美濃禅定道と城下町歴史絵巻」
49	岐阜県	揖斐川町	揖斐川町	(財)いびがわ 生命の水と森の活動センター の徳山ダムと上流の豊かな自然にふれよう / 揖斐川源流水源地探索会	揖斐川源流冬の森親子体験／歩くスキー、スノーシュー、輪かんじきを体験しよう
50	京都府	京都市	京都市	(株)ツアーランド	京の水紀行 ～平安京から“今”そして未来へ～
51	京都府	京都市	南丹市美山町	(株)ツアーランド	日本の原風景に名水を訪ねる ～神田の水と由良川源流の『大河の一滴』～
52	近畿	京都府	京都市	(株)ツアーランド	茶の湯文化と“水” ～名水と利休～
53	滋賀県	高島市	高島市	湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部実行委員会	新竹取物語と“三尺の泉”／安曇川の恵み！安曇川源流 プナの森から琵琶湖への里山体感ツアー
54	滋賀県	高島市	高島市	湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部実行委員会	スノーシューで遊ぼう！雪景色を楽しもう！冬のプナの森体感の旅／プナの森から琵琶湖への里山体感ツアー
55	兵庫県	豊岡市	豊岡市	(株)スカイウェイ	コウノトリが暮らす水辺を訪ねる旅 (治水や農業と共存する多様な水辺を訪ねます。)
56	近畿	兵庫県	多可町	多可町観光交流協会	多可町魅力まんさい計画バスツアー／～目と舌で味わう播磨の奥座敷～
57	広島県	安芸太田町	奥安芸	安芸太田町	安芸の国の行列のできる名水にふれる旅 平成の名水百選「八王子よみがえりの水」、天上の明水汲み取りトレッキング
58	鳥取県	米子市	「美水の郷」(米子市・大山町、及び周辺地域)	米子市観光協会	『「美水の郷」ウォーク』 「名水料理を味わう歩き旅」
59	中国	鳥取県	米子市	米子市観光協会	『「美水の郷」ウォーク』 「元オリンピック日本代表選手と一緒に歩くノルディックウォーク」
60	島根県	津和野町	鹿足郡高津川流域	津和野町観光協会 町観光協会	吉賀 清流高津川の恵みとふれあう旅 ～清流とともに生きる人々～
61	山口県	萩市	萩市	萩市観光課	水と暮らした萩の旅～ぶらり萩あるき～

番号		都道府県	市町村	観光地域名	応募者名	タイトル
62	四国	徳島県、高知県	吉野川源流域各市町村	祖谷峡谷(吉野川源流)、嶺北地域(吉野川源流)	(株)HAKKL	吉野川の源流・食の探訪・青空キッチン
63		愛媛県	西条市	西条市	西条市観光振興課	水の都西条市～西条市の水を満喫する～
64	九州	佐賀県	佐賀市	古湯温泉	古湯・熊の川温泉地活性化運営委員会	蜷観賞会／県都・佐賀市を流れる嘉瀬川の源をたずねて
65		大分県	日田市	日田市	(社)日田市観光協会	「水と森の恵みに感謝」五感で感じる秋の水郷(すいきょう)ツアー
66		宮崎県	小林市	北きりしま地域(小林市、えびの市、高原町、野尻町)	北きりしま田舎物語推進協議会	霧島の湧水めぐりと農家民泊田舎物語ツアー ～霧島山系が育む“湧水”の魅力と田舎暮らしを満喫する旅～
67		熊本県	熊本市	熊本市	熊本市ブランド推進室	奇跡の地下水都市・熊本めぐり／阿蘇と清正のウォーターパークをあなたに！
68		熊本県	南阿蘇村	南阿蘇村	南阿蘇村旅案内人協会	水の生まれる郷への旅 『水と生きる里のくらし』を訪ねて

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年1月21日

【応募者】	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄
団体名 : 青森通リズム株式会社	(記入不要)
所在地 : 青森県八戸市鮫町小舟渡平19-9	
TEL/FAX : TEL: 0178-35-1919 FAX: 0178-35-1920	
担当者 : 前澤 茂緒	
メールアドレス : maesawa@acmori-tourism.jp	
登録旅行業 : 第3-135号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号: 30000429	3

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
未知の国の水と遊び 水を知る旅	青森県	十和田湖・奥入瀬渓流 高温泉・十和田市・七戸町
八甲田山の四季が創る青森の水の恵		
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
十和田湖・奥入瀬渓流・八甲田の湧水・八甲田山が作る湖沼群と温泉		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	様々な水とのふれあい方法によって、健康感(身体と心)を高める旅である。参加者の体力に応じて、目標を変えた水のスケールや表情の違いとの対峙を体験することを目的とする。朝から水(歩いて巡る奥入瀬、高の湖沼群、カヌーで湖面から観る様々な十和田湖、霧、雨、雪の天候で表情が変わる水量、人口河川と農の交り) 触れる水(各種温泉、足湯、自噴温泉、カヌーから触る湖水の水)、飲む水(奥入瀬の水、水だし珈琲、温泉水) 聞く水(ブナ林の樹間流)、活用する水(人口河川による水田開拓・引き入れた水による自然回復の観察)	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 5月~10月)	【催行人員】 20名(最少催行人員: 15名)
【原 価】	内 訳 定期観光バス(1,900) 貸切マイカーバス(7,500) 宿泊費: 2泊3食(13,300) 昼食代2回(2,880) カヌー: 体験・指導料(5,250) 温泉入浴料(500) 入館料(210) ガイド料(1,350) 企画費(290) 企画料(1,200) その他経費(500)	34,880円 (大人1名)
【販売価格】	35,000円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名
【旅行企画のセールスポイント】	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)	
神秘の湖と言われている十和田湖や八甲田山はあまりにも有名ではあるが、一般的な観光では知られていない景勝地をアクティブな体験を通して、新しい魅力を発見して貰える企画である。湖岸や遊覧船からでは見られない湖上を自らの力でカヌーを漕いで、水鳥の眼下になって水と親しみ、名も無い入江や岩、大樹を探そう。また、湧き出る水は、「奥入瀬の水」として製品化されており、その水で淹れる水出し珈琲の味は旅人に安らぎを与え格別なものがある。また、八甲田山麓には、その湧水が作り出した多くの湖沼が点在しており、最中は、野鳥の鳴りを聞きながら、のんびりと歩くと言う、その湖沼や小渓流を歩くと心身が癒される旅人が多く見られるようになった。大きな十和田湖と湧き出る水脈から流れる奥入瀬川は、稲生川と言う人口河川の通水により、不毛の地・原野であった三本木原を稲作農耕地に変え、今の十和田市の姿がある。そんな歴史を知る事も出来る水の旅でもある。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 十和田市観光協会 / 施設との調整・協会内情報提供と発信	⑤ 奥入瀬観光ボランティア協会 / 奥入瀬ガイド	
② 十和田市観光課・七戸町観光課・農林課/宣伝・情報提供・発信	⑥ 高温泉 / 高6沼のガイド・温泉入浴指導	
③ 上北地域振興局 / 関係市町村との調整・情報提供と発信	⑦ 十和田湖民宿協会 / 宿泊・住民との交流	
④ ノースビレッジ / カヌー指導・キャンプ指導や企画	⑧ 湧水館 / 工場案内と水製品の提供	
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ガイド】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	* 2009年11月に上北地域振興局企画主催し、上記コースの一部をモニターとして参加し実証したものである。 * 当社でもヘルスツアーズの一環で、高温泉と周辺の6湖沼モニターツアーを催行したが、十和田湖・奥入瀬渓流に劣らず好評を得た。アップダウンも少なく、90分ほどの歩きではあるが、若者から団塊世代まで楽しむ事が出来る。 * 当社は着地型専門業者であり、地域を越えての企画募集には、提携先(十和田地区の旅行業者)との提携販売となる。	

【エントリーシート 別紙】

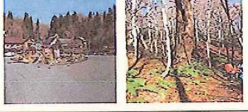
【行 程 表】		
1日目	* 夜礼口で係員がお待ちしています。 八戸駅新幹線西口====定期観光バス====焼山(ノースビレッジ) * スケジュール説明・オリエンテーション 12:00頃 (とわだこ号) 14:00頃 * アウトドアスポーツの基地 ・・・湧水館 (奥入瀬の水で淹れたコーヒーの賞味)====奥入瀬渓流(途中散策)====宇津部(泊) (奥入瀬の水、ペットボトルサービス) 15:00 * 石ヶ戸 * 餃子大滝 16:30 ＜宿泊＞ 宇津部の民宿となります。 * 夜に星空が素敵に見える場所へご案内します。	
2日目	* 朝食前の湖畔散策などでお楽しみ下さい。 民宿====宇津部湖畔キャンプ場 * カヌー体験はインストラクターの指導・随伴のもと湖上へ漕ぎだしましょう。 8:30 8:40 * 名も無い入江や大樹、湖上から水鳥の目線になって楽しみましょう。 宇津部====焼山(ノースビレッジ)====高川温泉====高温泉(高沼を始め6湖沼) 11:00 11:40 * 石窯で料理したヘルシーな昼食 13:00 13:20 * 約90分の散策 * ガイドの案内と野鳥の鳴り、せせらの音を聞きながら歩きましょう。・高沼・高沼・月沼・長沼・菅沼・ ・高沼湖・余材庵 * 汗かいた後は「青森県の秘湯 高温泉」入浴 ====法量農村公園====人工河川(稲生川)====十和田市ホテル(泊) 15:30 16:00 * 人工河川のスタート地 * 新渡戸3代の十和田三本木原開拓の基 17:30 * 夕食は自由ですが、三陸の新鮮魚介や地産の健康食材のお料理をお勧めします!	
3日目	ホテル====新渡戸記念館(十和田市開拓の歴史)====大清水神社(三本木の地名発祥地) 9:00 9:10 10:00 10:15 10:35 * 原野であった頃、旅人の喉を潤した水 ====七戸町(七戸川での錦鯉の放流)====盛古石(昼食: 手打ち蕎麦)==== 11:00 * 町中の川の浄化 11:40 * 小川を利用した庭にはホテルやオニヤンマのヤゴ 12:40 ====道の駅七戸====七戸・十和田駅 13:00 * 健康食材などのお買物 * 14:00 頃発の新幹線想定	
【主な観光ポイント(観光地・観光施設の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
<湧水館の水出し珈琲と奥入瀬川> 	<カヌーで触れる十和田湖の水> 	<高温泉と湖沼間にある大樹> 
長い青森の冬は、7月初旬までも、八甲田山の山肌 に雪を被す、日本海から吹き込む雪は、八甲田山に 霧となり雨となって、多くの水資源を被す。 その水は、新渡戸一族の手によって、人口河 川となって、三本木原を潤し、緑豊かな田園を 作り、十和田市を流れ、やがて太平洋に注ぐ。 ここから、この十和田湖の水の流れに沿った 入れたコーヒーは、喉と心を癒してくれる。	さあ 水鳥の眼下になって、湖水と遊ぼう！ 澄んだ湖水は、やがて奥入瀬渓流となり その水は、新渡戸一族の手によって、人口河 川となって、三本木原を潤し、緑豊かな田園を 作り、十和田市を流れ、やがて太平洋に注ぐ。 ここから、この十和田湖の水の流れに沿った 入れたコーヒーは、喉と心を癒してくれる。	高温泉は、青森県の秘湯のひとつ！ ヒバ作りの湯船の底から自噴する天然掛け流しの 温泉です。また園内には八甲田山からの湧き水がい たる所に湖沼を創りだしています。その、6湖沼を。 のんびりと野鳥のさえずりや小渓流のせせらめき を聞きながら歩きます。 大樹に耳を寄せて、その鼓動を聞いてみましょう！
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
<法量農村公園> 	<十和田市立新渡戸記念館> 	<水を利用した盛古石の農家レストラン> 
人口河川を引き、原野であった三本木原に水を引く ために、当時の人達はこんな道具を使い、人力で 水路を造りあげていったのです。トンネルを掘り、 奥入瀬川から水を引いた矢人達の営みが偲ばれる のが、この場所なのです。	十和田市の発展の礎は、今からおよそ150年 前、人口河川・稲生川の通水に始まる。 この幕末の開拓を指揮したのが南部盛岡藩士・ 新渡戸伝とその息子・孫である。 当時の都市計画図・工具・歴史を展示	東八甲田山の雪解け水を庭に引き入れ小川となり 今では、自然回復でホテルやトンボの生息地ともな っている。また、その水を活用して、打った手打ち の蕎麦は、今は農家レストランとして評判です。

図2-1 水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート (大賞 青森通リズム(株) (青森県))

表2-2 水の里の旅 応募企画の一覧表（一例）

番号	タイトル	都道府県 観光地名	活かそうとしている「水」の特性・特徴	旅行の目的	主なテーマ	主な観光ポイント (観光地など)	日程	実施 時期	アクセ スの 起点	旅行中の移動 手段	旅行企画のセールポイント	ガイドの有無	水に関する 自然環境 水質 施設	水に関する 認定	水文化の保 全の取組み	主な ター ゲット	水の活用方法	波及効果	希少性・優位性 (観光資源台帳 より)	予約方 法	運営組 織	企画協力機関	リンク
3	未知の国の 水と遊び 水を 知るたび 八甲田山の四季が創る青森の 水の恵	青森県 ・十和田湖 ・奥入瀬渓流 ・高田島 ・十和田市 ・七戸町	十和田湖・奥入瀬渓流・八甲田 の湧水・八甲田山が作る湖沼群 と温泉	様々な水とのふれあひ方法 によって、健康感(身体と 心)を高める旅。 参加者の体力に応じて、目 録を要した水のスケールや 表情の違いとの対峙を体感	自然の散策・体験 に興味を持つ人々	・湧水館の水出し珈琲 ・奥入瀬川 ・カヌーで航れる十和田湖の 水 ・高温湯と湖沼間にある大樹 ・流湯温泉公園 ・十和田市立新渡戸記念館 ・水を利用した蒙古石の農家 レストラン	2泊 3日 夏 秋	八戸 駅(新 幹線は ずいて はなし)	定期観光バス 貸切観光バス	・湖までのカヌー体験 ・奥入瀬の水で入れる湧れる水出し珈琲 ・山の湧水が作り出す湖沼群の散策 ・人工河川など水にまつわる歴史を学ぶ	あり (奥入瀬観光ボランティア 協会) (1,350円)	・溪流 ・湖沼 ・湧水 ・河川	・水の郷百選 (十和田市) ・平成の名水百選 (十和田市、沼 のの水)	・奥入瀬溪 流エコー リズムプロ ジェクト など	自然の 散策・ 体験に 興味を 持つ人 々	・地域ガイ ドポラン ティアの活 用 ・地域食料 品の活用 ・地元産品 所の活用		・十和田語 (SA) ・奥入瀬渓流 (SA)	旅行会 社への 連携	青森通 りズム 株式会 社	①十和田市観光協会 (調整・情報発信) ②十和田市観光課・七戸町観光課・農林課 (情報提供・発信) ③十和田市観光課 (関係市町村との調整) ④ノースレッチ (カヌー指導・キャンプ指導や企画) ⑤奥入瀬観光ボランティア協会 (奥入瀬ガイド) ⑥高田島 (高田島のガイド) ⑦十和田湖民権協会 (宿泊・住民との交流) ⑧湧水館 (工場内と水製品の提供)	http://www.aoi-tourism.jp/departments/03/	
14	水守の郷・セウ館 あなたの中に眠っ ている「山・水・木物語」 ここにあります。	宮城県 ・セウ館町	ダム及びダム湖周辺を食む、食 を絡めた源流ツーリズム	炭焼きは地球を救う	自然の散策・体験 に興味を持つ人々	・セウ館公園 ・水守の郷 セウ館 ・水と歴史の館 ・ダム展望台 ・セウ館水管理所 ・長生湖 ・やまびこつり橋 ・南五ヶ所少年旅行村 ・せせらぎの里	2泊 3日 春 夏 秋	セウ館 公園 本郷白 石駅下 車。宮 城交通 バス(関 行き)	路線バス、レ ンタサイクル ★カヌー	・薪割りや産戸ごはづくり ・炭焼き ・森林トレッキング ・水辺のカヌー	あり セウ館町観光協会/各団 体の連絡調整・ガイド等 旅行村運営会の会/森林ト レッキングガイド	・湖沼 ・ダム ・湧水	・水の郷百選 (セウ館町)	・水守の郷 まわりの ネットワーク (水源地 域ビジョ ン) など	自然の 散策・ 体験に 興味を 持つ人 々	・関係材の 活用 ・地域食料 品の活用 ・地元産品 所の活用	無し	不明	セウ館 町観光 協会	①セウ館町観光協会 (各種団体の連絡調整・ガイド等) ②NPO法人水守の郷・セウ館 (大人の山がっつこ体験) ③道の駅「セウ館」 (食材提供) ④旅行村運営会の会 (森林トレッキングガイド) ⑤セウ館観光タクシー (路線バス) ⑥高田島大川屋 (宿泊)	不明		
59	吉野川 食のツーリズム会議	徳島県 ・塩谷峯谷 ・高知県 ・幡北地域	・吉野川源流地域の食文化 ・おいしい食材を育む源流環境 ・山を守り、おいしい食材を 育てていく人々	漁師や農家と一緒に、下流 から上流まで一緒に訪れる 流域の旅	料理に関心を持つ 人々	・吉野川の源流散策 ・源流・東播磨ちいおトラ スト・塩谷峯の家の園芸装 束、源流の暮らし体験 ・源流が育んだ食材、源流が培った暮らし の文化を体験 ・青空キッチン	1泊 2日 夏 秋	徳島空 港	鉄道(ＪＲ土 讃線) 観光タクシー	・吉野川河口のカリスマ漁師が食のツア ーをコーディネート ・吉野川源流体験 ・源流が育んだ食材、源流が培った暮らし の文化を体験	あり (地元漁師)、 ★ちいおトラスタッ フと農家のさんのお出迎え、 食事体験、等あり	・河川 (源流)	・水脈の森百選 (吉野川源流の 森)	・里山の風 景をつくる 会 など	料理に 関心を持 つ人々	・地元住民 の雇用 ・地域食料 品の活用 ・地元産品 所の活用	吉野川 (B)	不明	株式会 社HAKU	①株式会社HAKU (プロデュース) ②高田島 村ス (ディレクション) ③山下園園 (源流地域で有機野菜及び場所の提供) ④高田島 村ス (源流地域で食文化体験プログラムの提供) ⑤NPO法人いほく活性化機構 (源流地域の人材コーディネート)	不明		
62	「水と森の恵みに感謝」五感 で感じる 秋の物語(すいきょう) ツ アー	大分県 日田市	水面に映る風景(明かり・紅葉) を中心に、「水」が育む 「食」、「水」上での「舟遊 び」、「音」、「マイナスイ オン」などの特性を活かす。	秋の日田市、「水郷(すいき ょう)」ならではの水の 環境を五感で感じながら、 思う存分楽しむこと	地域文化・歴史に 関心を持つ人々	・松原ダム「道楽」 ・水辺の恵のおやま ・サッポロビール九州日田工 場 ・朝明の館 ・朝明の館 ・「千年あかり」の点火体験 ・慈恵の庵 ・いほくこ日田萬留所	1泊 2日 秋	日田 駅	観光バス(借 り上げ)、 船、徒歩	・3万本の竹灯籠が川面に映り幻想的な 「千年あかり」の点火体験 ・水の恵みを利用した歴史の音がこだます る「小曲田の里」 ・秋の味付けせせらぎを聞きながら「天ヶ瀬 温泉・雲見山」 など五感で感じる「水」物語を楽しむ	記載なし ★遊楽乗船、ビール工場学 習、等あり	・湖沼 ・溪流 ・ダム ・河川	・水の郷百選(日 田市)	・リバー フェスタin みくま川 竹委員 など	地域文 化・歴 史に関 心を持 つ人々	・食べる (お酒、水を活 かした地元食 材) ・触れる (乗船) ・聞く (せせらぎ) ・感じる (マイナスイ オン)	・地域ガイ ドの活用 ・地元産品 所の活用	無し	不明	社団法 人 日 田観光 協会	①大山夢工房 (水辺の園おやまでのランチ) ②サッポロビール九州日田工場 (工場見学) ③高田島 村ス (朝明の館 見学) ④千年あかり実行委員会 (点火体験場所設定) ⑤天ヶ瀬温泉組合 (宿泊対応) ⑥大瀬川リバーツーリズム研究会 (船子体験づくり) ⑦小瀬川同業組合 (買入見学) ⑧いほくこ日田萬留所 (工場見学)	http://www.oitohikari.com/	
6	〜アール・スクールの大さき 〜川沿いに整備されたフットパ ス(散策路)等を活用し、模倣 の町の資源を歩きながら、 川を流す最上川川の水や文化 にふれあう ・最上川流域の歴史的な建 物(舟遊びによって発展した町) ・観光資源の解説を地元山形弁 を交えながら、ボランティア ガイドが案内	山形県 最上川上流域 長井市 白鷹町 朝日町 大田町	・豊かな水と「奥会津かねや ま」の郷 ・大きな流れとなった水を利用 した遊歩道 ・水が育む「かたち」と「ち から」	最上川川の水や文化に ふれあう ・最上川川の水や文化に ふれあう ・水が育む「かたち」と「ち から」	・ウォーキングに 興味のある人々	・長井市あま町(東郷商人 館) ・白鷹町佐野邸 ・朝日町朝日邸 ・大田町 旧蔵上橋 ・白鷹町 最上川橋梁(日本初 といわれているトラス鉄 橋) ・朝日町 欄干100選に選ば れた「欄干」	1泊 2日 秋	山形・ 赤湯駅	・鉄道(山 形・長井 線) バス ・徒歩(フ ットパス による散 策)	最上川流域の自然・歴史・文化を感じながら ・最上川流域のフットパスによる景観 ・ガイドボランティアが丁寧に案内する詳細な 説明・より取り(五人に一人のボランティア ガイドが付き) ・山形ならではの食事・温泉	参加者5人に1人のガイ ド ながい黒瀬川の里案内人、朝 日町エコミュージアム案内人 の会、大田町観光ボラン ティアガイドの会	・河川 ・欄干 ・温泉	・水の郷百選(長 井市)	・ウォ ーキン グに 興味 のある 人々	・体験する フットパスに よる自然散 策・スケー ル・学ぶ (歴史・文 化)	・地域ガイ ドの活用 ・地元ロー カル鉄道 の使用 ・地元産品 所の活用	朝日産 (B)	不明	NPO 最 上川リ バー ツー リズム ネット ワーク	①ながい黒瀬川の里案内人(ガイドボランティア) ②しらたか旅館案内人(ガイドボランティア) ③朝日町エコミュージアム案内人の会(ガイドボランティア) ④大田町観光ボランティアガイドの会(ガイドボランティア) ⑤長井市・ハリス松風・テルメ柏枝(施設利用・バス 利用) ⑥NPO法人 長井まちづくりNPOセンター(企画・設 計) ⑦NPO法人 朝日町エコミュージアム協会(企画・設 計) ⑧各市長の観光協会(広報・受付)	http://www.tohoku-kankou.com/		
17	水のふるさと「奥会津かねや ま」の郷 多摩水、その「かたち」と 「ちから」を味わう	福島県 金山町	・豊かな水と「奥会津かねや ま」の郷 ・大きな流れとなった水を利用 した遊歩道 ・水が育む「かたち」と「ち から」	・人々の暮らしと水の関わり を楽しむながら体感 ・水の循環システムや地球 環境の大切さを学ぶ ・「水」の「食」の「学」を テーマに、町内の水質 調査や水質改善、水の恵 みを感じ	・水の循環システ ムや地球環 境に関心 を持つ人々	・松坂町のブナ林「癒しの 森」 ・大田地区炭酸泉 ・滝沢川「おうち」群 ・野沢川の水 ・町内にある水質改善施設 ・只見川の川原と只見川 の川原	1泊 2日 春 夏	新白河 駅	バス、 JR、 徒歩★	・世界的にも希少な雪食地帯が見られる ・通称では見ることができない松坂町のブ ナ林、大田地区炭酸泉の持戸、滝沢川「おうち」 群、第二沼沢発電所、上田発電所、只見 川の川原などその姿を変えて流れる一連 の「水のまち」を一度に体験 ・ローカル鉄道と大田地区只見川の水面に 映る緑意の中を走 る、広く開かれていない地域の水の姿を地 域の人が丁寧に案内	・水源地 (ブナ 林) ・発電所 ・水利用 ・水質 調査 ・河川 ・地下水 ・湖沼	・水源地 (ブナ 林) ・発電所 ・水利用 ・水質 調査 ・河川 ・地下水 ・湖沼	・水の循環シ ステム や地球 環境に 関心 を持 つ人 々	・水の循環を学 ぶ (一連の流れ) ・食べる (ミネラル 豊富な 水) ・体験する(温 泉、散策など)	・地域食料 品の活用 ・地域人材 の活用	不明(「 水」に よる 商品企 画化)	福島県 大田 金山町	①金山町役場地域振興課(企画、総括) ②金山町観光情報センター(企画、総括案内、通訳) ③大田地区天然炭酸水保存会(水質、案内) ④大田地区天然炭酸水保存会(炭酸水、案内説明) ⑤金山町観光情報センター(企画、ルート案内) ⑥金山町観光情報センター(企画、ルート案内) ⑦東北電力津余津松支社(発電施設案内説明)	http://www.tohoku-kankou.com/				

(2) 水の里の旅のターゲットの把握

水の里の旅の目的の内容から、主なターゲットの傾向を把握した。

各企画の目的の内容から、ターゲットのカテゴリの分類を実施した。その結果、「水源地の自然の散策・体験・景観に関心がある層」、「地域の水文化・歴史に関心（街並み・舟運等）がある層」など、その他を含め8つのターゲットに分類し分析した。

割合が一番高い分野は、水源地の自然散策など（29.9%）、地域の水文化・歴史（29.9%）と続く。

また、水辺体験に興味、料理愛好家、健康志向、ウォーキング愛好家など、ターゲットを専門的に絞ったものも提案されている。

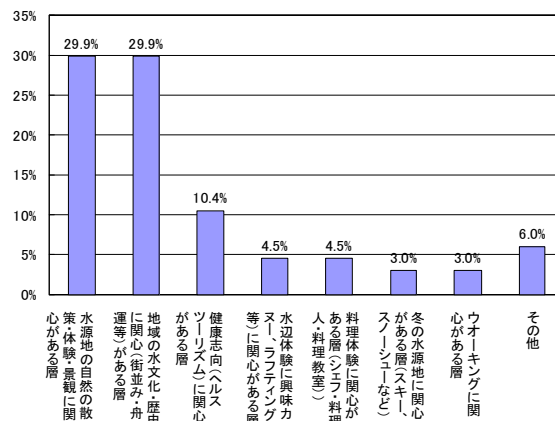


図 2-2：水の里の旅のターゲット

(3) 水の里の旅のテーマの把握

水の里の旅の内容から、水の里の旅のテーマを整理し、整理したテーマから、キーワードを抽出して分類した。また、1企画で複数のテーマを有している企画については、複数のテーマを抽出した。

テーマの一例とテーマから抜き出した主なキーワードを以下に示す。キーワードは水の里の旅を企画した応募者がイメージする水の里のキーワードであることから、これらのキーワードの内容を一般の人に伝えることが求められる。

<テーマの一例>

- ・ 様々な水とのふれあい方法により健康感（身体と心）を高める旅
- ・ ダム及びダム湖周辺を含む、食を絡めた源流ツーリズム
- ・ 源流が育んだ食材、源流が培った暮らしの文化を堪能
- ・ トレッキングを加えたヘルスツーリズム

<主なキーワード>

- ◆ 水に関連する自然環境
水源地・水源林、河川、源流、流域、湧水、水循環、里山、温泉、地球環境、水の里、地下水 など
- ◆ 各種施設
ダム、フットパス など
- ◆ 歴史・文化・体験など
トレッキング、カヌー、歴史・文化、食事・食材、郷土芸能、舟運 など
- ◆ 水に対するイメージ
風情、神秘性、癒し など

(4) 水の里への波及

水の里の旅の内容から、水の里の旅を実施することによる地域への波及を整理した。

地域への波及効果について、カテゴリの分類を実施した。その結果、「地元宿泊場所の活用」、「地元食材の活用」など、大きく6項目に分類した。

割合が一番高い分野は、地元宿泊所の活用(65.7%)、地元食材の活用(65.7%)、2次交通利用(52.2%)と続く。

また、水辺の再生、間伐材の利用、清掃活動など、環境保全に波及する旅行は少ない結果であった。

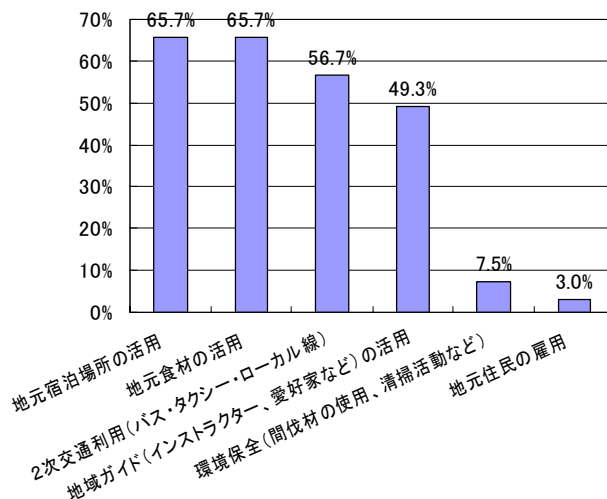


図 2-3：水の里への波及内容

(5) 水の利活用方法と内容

水の里の旅の行程から、水の里の旅で体験できる、水の利活用方法を整理した。

水の利活用方法を「見る」、「聞く」、「触れる」、「食べる」、「感じる」など大きく7項目に分けられ、割合が一番高い分野は、体験する(77.6%)、見る(62.7%)、食べる(61.2%)と続く。利活用方法の主な取組みは以下の通りである。

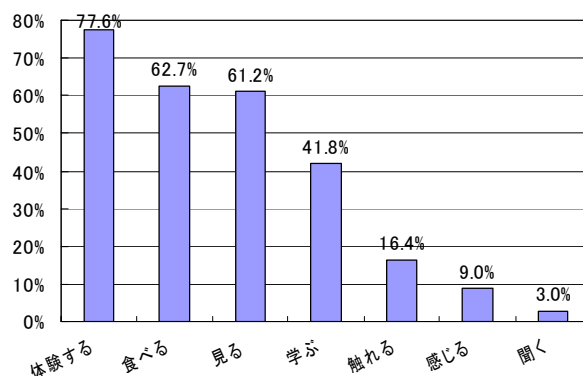


図 2-4：水の利活用方法と内容

- ・体験する（カヌー、トレッキング、料理体験など）
- ・見る（自然観察、瀑布見学、水辺の街並みなど）
- ・食べる（水（湧水）、郷土料理、高原野菜など）
- ・学ぶ（地域の歴史、生態系、水循環など）
- ・触れる（生き物探し、温泉など）
- ・感じる（マイナスイオン測定）、聞く（せせらぎ）

(6) 特性整理の結果の考察

上述の分析結果から言えることは以下の通りである。今後は、「水の里の旅」の魅力を広く伝達していくこと、ターゲットに対応した販売促進をバックアップしていくことが求められる。

- ・水の里の旅のターゲットは、水源地域の自然や文化・歴史に興味がある層、健康志向層などであり、これらのターゲットに対応した販売促進が求められる。
- ・水の里の旅が、「体験する」、「食べる」、「見る」、「学ぶ」などの多様な要素を有することを、広めていくことが必要である。
- ・地域への波及は意識されているが、環境保全などの波及を意識した企画は多くなく、このような要素も組み合わせることも一計である。

3) 「“水のめぐみ” とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」の全応募企画の活用方策の検討

「“水のめぐみ” とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」の全応募企画の活用方策の検討については、選考委員会のコメントや着地型観光の専門家による評価コメントなどを還流するとともに、「水の里応援プロジェクト」ホームページを作成し、広く水の里の魅力を発信した。

着地型観光の専門家による評価コメントについては、「社団法人全国旅行業協会」(ANTA) 及び大手の旅行代理店にヒアリングを実施した (P-44 参照)。また、「水の里応援プロジェクト」ホームページの作成の内容については、第 3 章に示す。

(1) 水の里の旅コンテスト 2010 の評価コメントの整理

「“水のめぐみ” とふれあう水の里の旅コンテスト 2010」の全応募企画の活用方策の検討するため、「水の里の旅コンテスト 2010」の審査委員会議事の内容を元に、選考委員会におけるコメントを整理した。整理結果を以下に示す。

①受賞企画の主な選定理由について

【大賞 1 点】

- ・プロモーションを実施しやすい旅行として選定

◆青森通リズム(株)(青森県)

未知の国の 水と遊び 水を知る旅～八甲田山の四季が創る青森の水の知恵～

- ・体験・食など内容的にバランスがとれ、観光地の資源の組み合わせが行なわれており、観光客を引き付ける魅力がある。
- ・プロモーションしやすい旅行プランであり、奥入瀬という有名資源のみならず、地域の歴史や生活を体験できる「着地」の要素として魅力が高い。また、旅行者を引きつける有名観光地に「+α(水に関するテーマ性、食、体験)」の波及効果が期待できる。
- ・さらに、水にまつわる伝説など、語り部との「地元とのふれあい」の要素を加えるとなお良い商品となりえる。

【優秀賞 3 点】

- ・地域のふれあいを重視した旅行として選定

◆七ヶ宿町観光協会(宮城県)

水守の郷・七ヶ宿／あなたの中に眠っている「山・水・木々物語」ここにあります。

- ・地域の人や日常生活との関わりが旅の企画に込められており、日常生活を体験できるコースが整備されている。

◆吉野川 食のツーリズム会議(徳島県・高知県)

吉野川の源流・食の探訪・青空キッチン

- ・関係団体との連携の体制がしっかり構築されている。全行程を通じて同じガイドが案内するなどの配慮が良い。また、地域の人や日常生活とのふれあいを感じ取れる。

◆(社)日田市観光協会(大分県)

「水と森の恵みに感謝」五感で感じる秋の水郷(すいきょう) ツアー

- ・水源地域振興の観点として、建設中の大山ダムが存在し水源地域としては、イメージしやすい地域。

【特別賞5点】

- ・地域バランス、完成度、旅フェア開催地への配慮等を考慮して選定

◆NPO法人 最上川リバーツーリズムネットワーク（山形県）

～アルク最上川～（歩く早さで感じる旅） 最上川流域の景観・まち・文化・歴史を活用した観光推進事業

◆福島県大沼郡金山町

水のふるさと「奥会津かねやま」の旅 / 多彩な水、その「かたち」と「ちから」を訪ねて

◆水郷佐原観光協会（千葉県）

ぐるっと水郷舟遊び / 悠々満喫 さっぱ舟でゆく水郷佐原

◆（財）いびがわ 生命（いのち）の水と森の活動センター（岐阜県）

日本一の徳山ダムと上流の豊かな自然にふれよう／揖斐川源流水源地探索会

◆（株）旅行屋（三重県）

地域の応援に支えられる五桂池「高校生レストラン “まごの店”」